



インフォメーション

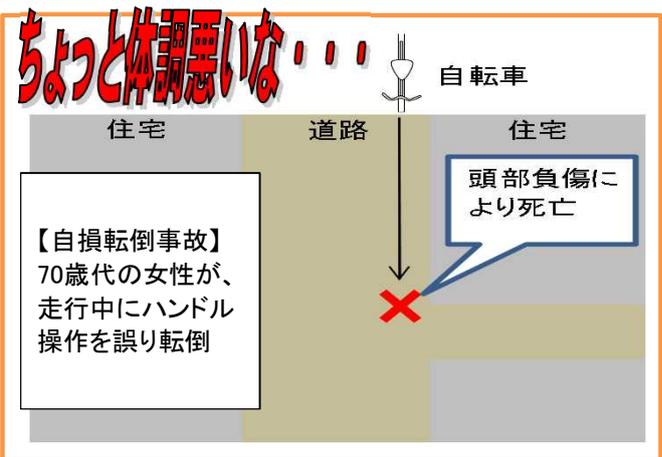
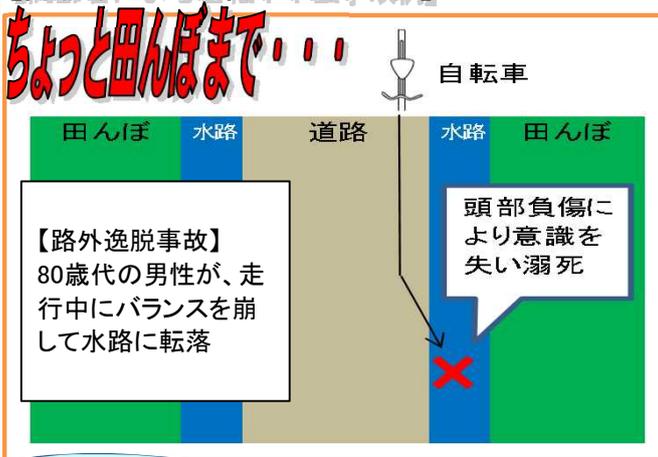
高齢自転車の転倒事故は命取り

【過去3年間の自転車乗用中の死・重傷者数（年齢層別・事故類型別）】

	死・重傷者	構成率
子供（15歳以下）	177	9.0%
車両単独	24	13.6%
路外逸脱	4	9.6%
転倒	13	
若年（16歳～24歳）	206	10.5%
車両単独	15	7.3%
路外逸脱	—	5.3%
転倒	11	
成人（25歳～64歳）	701	35.6%
車両単独	123	17.5%
路外逸脱	9	14.7%
転倒	94	
高齢者（65歳以上）	885	44.9%
車両単独	255	28.8%
路外逸脱	26	25.9%
転倒	203	
総数	1,969	—

自転車乗用中の死・重傷者の
半数近くが高齢者
 そのうち、4人に1人が
路外逸脱・転倒事故
 により負傷！！

【高齢者による自転車単独事故例】



高齢者の特性

- 加齢に伴う身体能力の変化により、バランスを崩しやすく回避行動が困難
- 脳の処理能力、判断能力が低下
- 負傷した場合、**重傷化**

半数以上が**頭部負傷**により死亡

➡ **ヘルメットを着用しましょう!!**

自転車は車両です

- 天候不良、体調不良等の時は、自転車の運転を控えましょう。
- 自転車の運転に自信がなくなってきたら、家族に相談してみましょう。
- 「自転車安全利用五則」を守って、正しく運転しましょう。

